

自然な光が未来を育む。

第17期 株主通信  
**IR REPORT**

2009年8月1日～2010年7月31日まで

CONTENTS

■ トップインタビュー	01
■ What's CCS	03
■ 第18期経営計画	04
■ 特集	05
■ 財務諸表	07
■ トピックス	09
■ 会社概要／株式の状況	10

**シーシーエス株式会社**

証券コード：6669





代表執行役社長 米田 賢治

社 是 お客様に愛と感謝  
 企 業 理 念 光を科学し、社会に貢献する  
 中長期ビジョン 新たな光産業を創出し、  
 光の世界企業を目指す

## 業績の着実な回復を図るとともに、 中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります

Q1 第17期の決算概況を教えてください

A 厳しい状況が続くものの、  
一部で回復傾向の兆しが見えます

第17期において、企業収益は改善傾向にあるものの、景気の先行きは依然として不透明な状況でありました。当社の主力事業であるLED照明事業においては、新興国需要の回復により、電子・半導体向けを中心に受注高も大幅に伸張いたしました。早期退職優遇制度の実施による退職特別加算金の発生、連結子会社における営業損失および特別損失の計上などにより、第17期の連結業績は、売上高4,775百万円（前期比32.3%増）、営業損失239百万円、経常損失は253百万円、当期純損失1,419百万円と大変厳しい結果となりました。またこうした結果に伴い、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況の存在を認識せざるを得ず、株主の皆様には大変ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。継続企業の前提に関する疑義につきましては、主力事業の強化、新規分野への注力、子会社の構造改革などによって早期に解消すべく全力で取り組んで参ります。このような厳しい状況下ではありますが、私たちは事業運営の効率化と収益体質の強化に努めるとともに、将来を見据えた先行投資を積極的に行ってまいりました。マシンビジョン分野においては当社独自のライティング・ソリューションを生かした競争優位性のある新製品の投入を進めたほか、新規分野においては顕微鏡メーカーと共同で顕微鏡専用LEDを開発するなど、自然光

LEDをベースとした製品の上市に向けて注力してきました。

植物工場関連分野においては、野菜事業、レストラン・カフェ事業の早期黒字化が困難な状況であることから両部門から撤退し、最も将来性のある植物育成プラント事業に経営資源を集中します。今期以降、これらの積極的な先行投資が確実に実を結んで行くと考えております。

Q2 第18期から中期経営計画をスタートされますが、その概要について教えてください

A 3事業を中心に、  
連結売上高100億円を目指します

第18期から第20期までの3ヵ年の中期経営計画を策定いたしました。第20期の経営目標としましては、マシンビジョン照明分野、新規分野、植物育成プラント事業の3事業を中心に、連結売上高100億円、営業利益率15%を達成したいと考えております。各事業別の具体的な内容としましては、マシンビジョン照明分野においては、従来からの主力製品とラインセンサ用LED照明の受注拡大とさらなる製品ラインナップ拡充に努めてまいります。また現在、マシンビジョン照明分野の約30%の売上を占める海外市場での販売強化を目指してまいります。なかでも、特に大きな成長が期待できるアジア市場に力を入れ、市場ニーズに即応する製品の開発、投入による事業の拡大を図ってまいりたいと考えています。年内にはタイに新たな拠点の立ち上げを予定しております。

Q3 中期経営計画の中で新規分野において、どのような展開を考えていらっしゃいますか？

A 自然光LEDの早期製品化とともに、  
新たなマーケットの獲得に注力します

新規分野においては、新規事業部門を立ち上げ、当社が開発した世界一の演色性をもつ自然光LEDを武器に、新たなマーケットの創出・拡大に向けて積極的な事業展開を行ってまいります。

すでに動き始めている民生・商業分野におきましては、従来のハロゲン照明から置換えが可能な店舗用照明LEDランプをはじめ、自然光LEDを使用したオフィス用照明など、環境配慮や色の再現性など顧客のニーズを的確に捉え、売上を伸ばしていきたいと考えています。

アグリバイオ分野においては、従来から堅実に売上を伸ばしている植物研究用LED照明「ISシリーズ」をはじめ、製品ラインナップの充実と、さらなる売上の拡大に努めてまいります。また新たに、植物に合わせた最適な光の質と強さが選べる植物工場用LED蛍光管の開発を進めています。医療分野においては、2009年10月に「第三種医療機器製造販売業」ならびに「医療機器製造業」の業許可を取得しています。マシンビジョン照明分野で培ってきた技術、ノウハウをもとに、内視鏡などの診断機器をはじめ「光による新しい治療」に貢献できるLED機器を提供し、医療分野への本格参入を図ります。

Q4 植物育成プラント事業については、いかがでしょうか？

A 国内外問わず受注拡大に取り組む、  
LED照明事業とのシナジー効果を見込んでいます

植物育成プラント事業においては、ミニタイプから中型、大型プラントまでを顧客のニーズに合わせて提案し、受注拡大に取り組んでおります。すでに小規模植物工場「コンテナ野菜工場」としては、中東・カタールの食品関連企業に第1号機の納入が決定しています。このコンテナ野菜工場には当社が開発した植物育成用LED照明が設置されており、今後アグリバイオ分野におけるLED照明とのシナジー効果が期待できると思います。この他にも、海外を含め多方面から多くの引き合いをいただいている状況で、今後も継続的な受注を獲得し、LEDを用いた植物工場を世界中に広げていきたいと考えております。

Q5 中期経営計画の1年目として、この第18期をどのように位置付けていらっしゃいますか？

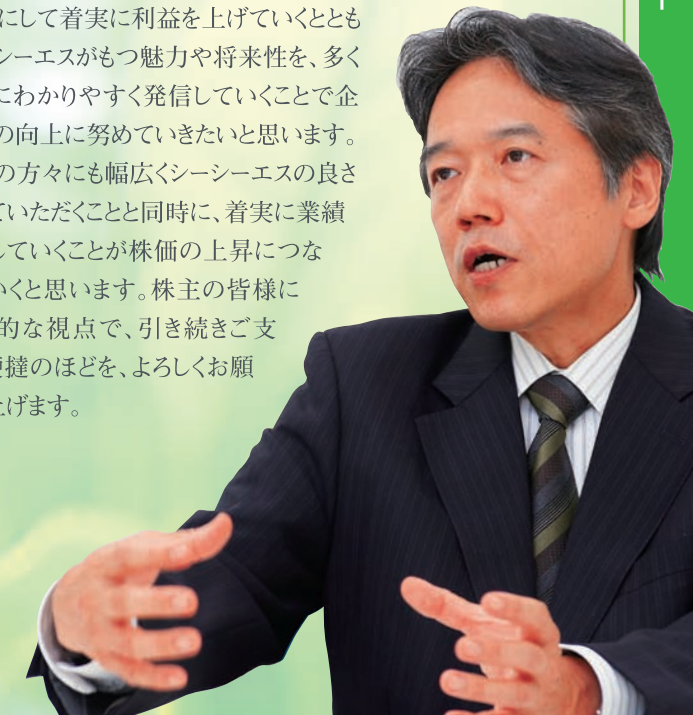
A 大きな飛躍への基礎となる1年にします

第18期は、第20期連結売上高100億円という目標に向けた土台づくりの1年と考えております。2期連続で赤字決算となっていることを認識し、黒字化の達成には徹底してこだわりますが、その中身も重視していきたいと考えております。将来、どのような事業を効率的に営んでいくかを見据え、中長期的な成長が展望できる事業の柱づくりに取り組んでまいります。具体的な数字としましては、第18期の連結業績は売上高5,980百万円、営業利益350百万円、経常利益420百万円、当期純利益240百万円と大幅な収益改善を目指しています。第18期の配当金につきましては、株主様へ安定的な配当を継続するという観点から、第17期と同額の1株当たり2,000円の配当（期末のみ）を予定しております。

Q6 3年後、10年後を見据え、シーシーエスをどのような会社にしていきたいと考えていらっしゃいますか？

A 光産業の第一人者として、  
光の新たな価値を提供したい

社是に掲げている「お客様に愛と感謝」の精神のもと、世のため人のために役立つ企業として、光という事業分野において、今までにない価値と新たな市場を創り上げていきたいと考えております。当社を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、一方で明るい兆しが見えてきています。そのチャンスをしっかりと捉え、主力部門の売上、利益を拡大させ、赤字部門は的確な手立てを打ち黒字化に転じさせる。そのようにして着実に利益を上げていくとともに、シーシーエスがもつ魅力や将来性を、多くの方々にはわかりやすく発信していくことで企業認知の向上に努めていきたいと思っております。投資家の方々にも幅広くシーシーエスの良さを認めていただくことと同時に、着実に業績を伸ばしていくことが株価の上昇につながっていくと思っております。株主の皆様には長期的な視点で、引き続きご支援・ご鞭撻のほどを、よろしくお願い申し上げます。





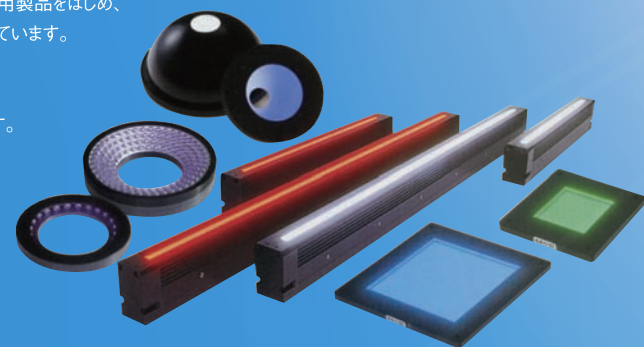
### 人と地球にやさしい世界企業を目指す

シーシーエスは様々な分野で人にやさしく、地球にやさしい光ビジネスを展開しています。



#### ■マシンビジョン照明とは

様々な製品の製造ラインで画像処理技術が活用されていますが、この画像処理の成功のカギを握るのがLED照明です。人間の目では判別が難しい微細で複雑な工業用製品をはじめ、飲料ボトルや食品パッケージなど用途は広がっています。最近では、太陽電池やリチウムイオン電池、液晶パネルや高性能フィルムの検査に使われ、撮像対象物に応じて光の調整が必要となります。



#### 工業用照明分野

##### マシンビジョン用照明

シーシーエスは独自のコアテクノロジーに基づいて開発した豊富な照明ラインナップとライティング・ソリューション(光の照射範囲、照射角度、照射波長といった要素を組み合わせた光の当て方のノウハウ)を提供しております。マシンビジョン用LED照明ではリーディングカンパニーです。

##### その他工業用照明

目視・顕微鏡分野では、作業者の立場に立って明るさ、消費電力など効率性に加え、光の質を追求しています。また、UV(紫外光)等、検査工程だけでなく製造工程でも活用されています。



### LED照明事業



### ライティング・ソリューション

#### 新規事業分野

マシンビジョン照明分野で培った技術とノウハウを横展開し、ライティング・ソリューションを強みに幅広い分野へ展開しております。さらにLEDデバイス技術により、開発された自然光LEDを中心に製品展開を行います。



#### ■民生・商業用照明

当社が開発した世界最高レベルの高演色性を持つ“自然光LED”を使った照明を基軸として、美術館・博物館、商業施設市場に最適な照明を展開しています。



#### ■アグリバイオ用照明

大学や研究所向けに独自開発の植物育成用LED照明を提案すると同時に、植物育成プラントにおける最適なLED照明の開発をしています。



#### ■メディカル用照明

内視鏡用など診断機器をはじめとする治療に必要な光の応用方法を研究・開発しております。

#### 植物育成プラント事業



植物工場に不可欠な植物栽培コンサルティング、従業員教育、栽培アフターサポート等、ソフト面での支援を提供してまいります。

※植物育成プラント事業は、当社が開発した植物育成用LED照明を提供し、株式会社フェアリープラントテクノロジーが植物工場設計技術と栽培ノウハウを提供しております。

### 第18期 経営計画

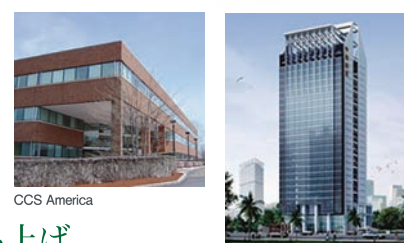
#### 1 国内工業照明分野の強化・拡大

エリア照明40機種、ライン照明20機種の投入により新製品の売上倍増を目指します。電池業界、自動車業界、薬品業界への営業を強化します。



#### 2 海外事業展開のための体制づくり

海外事業部門を立ち上げ、海外子会社の自主・独立性を高め、現地のローカル需要への対応を進めます。



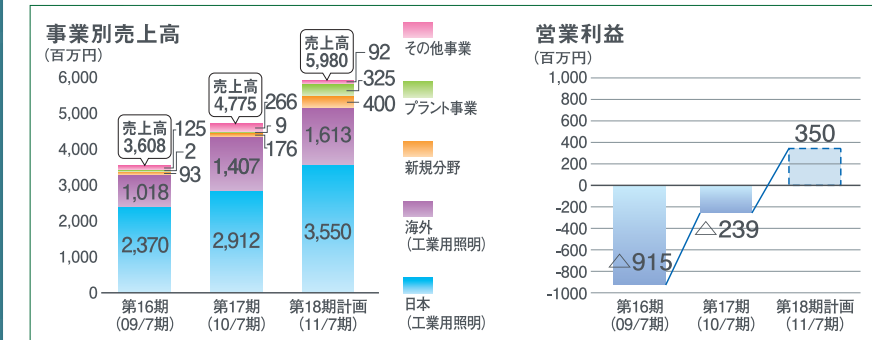
#### 3 新規事業分野の本格立ち上げ

新規事業部門を立ち上げ、民生・商業、アグリバイオ、メディカルの3分野を中心に自然光LEDのブランド確立と拡販を図ります。三菱化学(株)との連携を強化します。



#### 4 植物育成プラント事業の確立

(株)フェアリープラントテクノロジーは植物育成プラント事業に経営資源を集中する事で植物育成プラント事業の早期収益化に取り組みます。





# シーシーエスの中期経営計画 [2011年7月期～2013年7月期]

## ～光へのチャレンジ 20～

光の世界企業への発展を目指して、  
黒字化と更なる成長で創業20周年を迎えます

シーシーエスは、2010年7月期(第17期)にリーマンショックに端を発する世界不況の影響と連結子会社の業績不振によって2期連続赤字に陥り、2004年にジャスダックに上場以来、初めての大きな危機に直面しました。これを真摯に受け止めると同時に、今後の業績の回復と更なる成長を決意して、ここに中期経営計画を策定いたしました。

シーシーエスは2013年に創業20周年を迎えます。

この度策定した中期経営計画～光へのチャレンジ 20～は、光の世界企業への発展を目指し、景気変動に左右されない強い企業体質を作るための3カ年計画です。

### ■シーシーエスの強み

#### ●マシンビジョン分野でのブランド力と技術力



シーシーエスがマシンビジョン用照明の分野で築き上げたNo.1ポジションとそのブランド力は、確かな製品設計や生産技術に裏打ちされています。シーシーエスはこれまで、お客様の求める最適な照明をライティングソリューションという形で提供して参りました。17年間に亘るマシンビジョン分野でのブランド力と技術力は、シーシーエスの大きな資産であり、今後の成長の武器でもあり、これらがシーシーエスの成長の礎となります。

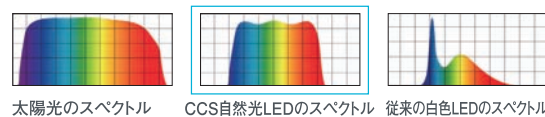
#### ●プラント事業での知識・経験・ノウハウの蓄積



子会社のフェアリープラントテクノロジー社(フェアリーエンジェルより社名変更)は、完全閉鎖型植物工場における野菜生産の先駆けとして、業界をリードして参りました。野菜の生産販売事業としては、その投資額を早期に回収することができなかったものの、そこで得た知見とノウハウ、技術の蓄積は、植物育成プラント事業の推進力となります。

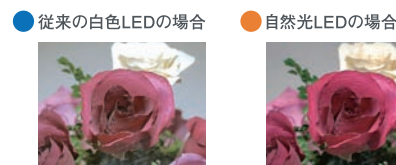
#### ●業界をリードする「自然光LED」のデバイス製造技術

##### ■光源のスペクトル(光の波長と強さの関係)



シーシーエスの自然光LED照明の特長  
①太陽光の下での色味と同じ色が再現できる。  
②対象物を傷めない。

##### ■演色性の違いのイメージ

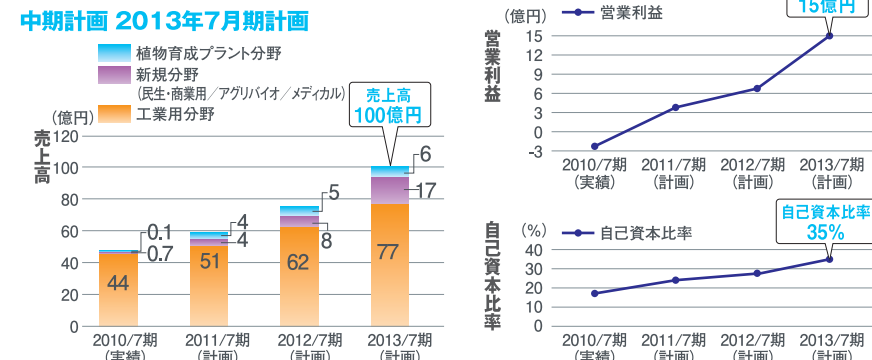


シーシーエスが開発した「自然光LED」は、太陽光にきわめて近い色を再現することを可能としたLEDとして、Ra98<sup>※</sup>を実現し、業界最高水準を誇っています。これはシーシーエスの優れたデバイス製造技術が実現したものです。このデバイス技術がシーシーエスの事業領域を拡大します。

※Ra100は太陽光と同等の色の再現性を表します。

### ■方針と取り組み

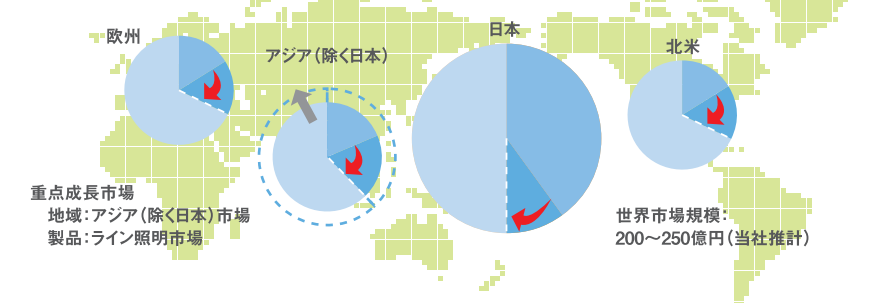
#### 方針1 工業用照明事業の拡大により盤石な収益構造を確立してまいります。



マシビジョン用照明分野での国内売上を更に伸ばします。そのために、機能強化した新製品を続々開発し、競合との差別化を図るとともに、成長分野であるラインカメラ用照明市場へも本格展開して参ります。また、営業力を強化して、顧客との強固な関係を維持し、ニーズをいち早くとらえ、製品開発にフィードバックさせていきます。

海外での展開を本格化します。本社機能を強化するために、海外事業部門を新設し、グローバル戦略を策定・推進しています。今後は海外のローカル需要に対応した製品を企画・投入していく計画です。特に今後成長が見込まれるアジア市場に注目し、注力してまいります。

#### マシンビジョン照明 世界全地域シェアNo.1へ 2013年7月期目標 売上高71億円

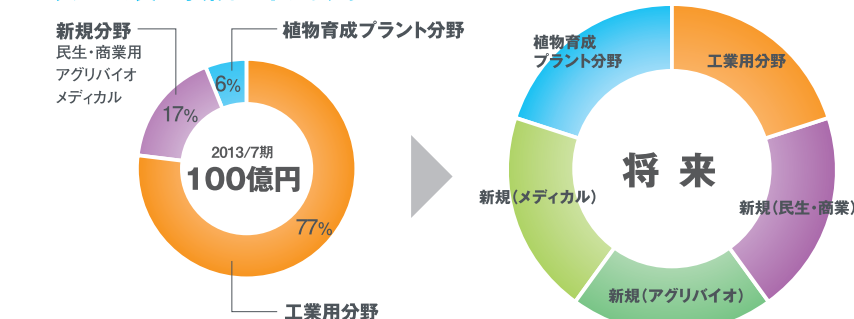


ファクトリーオートメーションにおけるマシンビジョン分野以外の工程への参入を進めてまいります。目視・顕微鏡分野での実績を元に、さらにこれを拡大していくとともに、UV(紫外光)を用いた接着や印刷など、製造工程へと事業領域を拡大していきます。

#### 方針2 新たな事業の柱を立て、さらなる成長の足がかりを作ります。

「自然光LED」の商品化を進め、本格展開してまいります。三菱化学(株)をはじめとする他社とのアライアンスにより、「色の再現性に優れている」という特長を活かした製品開発と販路拡大を進めていきます。「民生・商業用」「アグリバイオ」「メディカル」の3つの柱を立てて行く予定です。

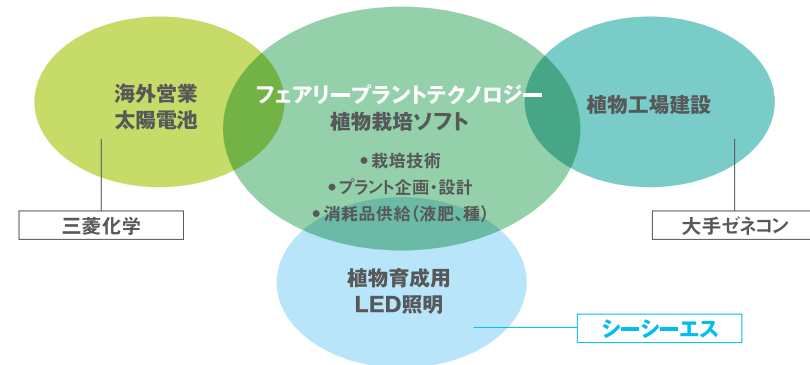
#### バランスの良い事業ポートフォリオ



植物育成プラント事業を確立してまいります。(株)フェアリープラントテクノロジーのこれまでの植物工場設計技術や栽培ノウハウでソフト面を支え、ハード面では、シーシーエスの植物育成用LED照明、三菱化学(株)の太陽電池、大手ゼネコンの工場設計・施工、という形で事業パートナーと協調して、市場を先行して開拓します。

#### 栽培管理技術(ソフト面)から植物工場事業をサポート

- 植物栽培コンサルティング
- 従業員教育・栽培アフターサポート



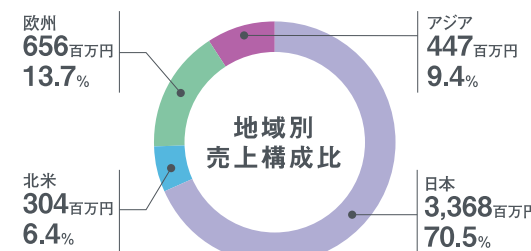
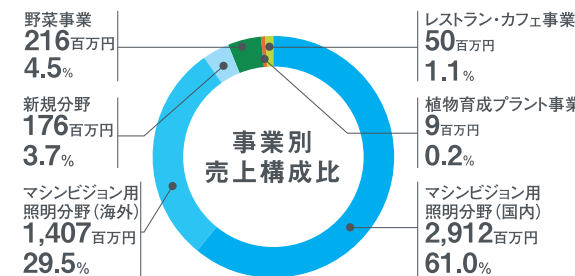


連結決算の状況

# Consolidated Financial Highlights

※ 百万円未満を切り捨てています。

## セグメント別の売上状況



## ■LED照明事業

### マシビジョン照明分野

工場での環境配慮とコスト削減につながる製品として、ハロゲン置き換えを狙ったLED光源ボックスの世界戦略品「PFB-20SWシリーズ」の拡販に努め、活発な引き合いを頂いております。また、ライセンスカメラ用照明は、液晶パネルや太陽電池フィルムなど、近年、検査対象物の範囲が拡大していることから成長市場として製品開発に注力し、「HLND-SW2」や業界最高水準の高輝度と均一性を実現させた「LTシリーズ」を発売するなど、製品ラインナップの拡充に取り組みました。三品業界(食品・薬品・化粧品業界)向けには、「LFX2シリーズ」を発売、従来品ラインナップと併せて、拡販に努めました。マシビジョン照明分野の主要業界である電子・半導体業界では、新興国の需要が活発化する中、主力製品の性能を大幅に向上させた「HLV2シリーズ」、「THシリーズ」を発売しました。

### 新規分野

目視・顕微鏡分野では、当社が開発した世界最高の演色性を持つ「自然光LED」をベースに、顕微鏡メーカーと共同で顕微鏡専用LEDを開発しました。また、実体顕微鏡用LED照明「自然光CN R」の拡販に努めました。バイオ・アグリ分野では、大学・研究機関等向けに、植物研究用LED照明「ISシリーズ」の拡販に努めるとともに、現在、植物工場用のLED照明の開発を進めております。メディカル分野では、医療用LED照明の研究を進めてまいりましたが、平成21年10月13日付で「第三種医療機器製造販売業」ならびに「医療機器製造業」の業許可を取得したことにより、医療分野への本格参入へ準備を整えることができました。今後は、製造から市場投入まで一貫した体制の構築準備を進め、幅広く医療分野へ展開を図ってまいります。民生・商業分野では、商業施設用LED照明分野へ本格的に参入いたしました。当社が開発した「自然光LED」を使った初の商業施設用LED照明「自然光LEDランプ」を発売し、色の再現性を重視する化粧品や宝飾品等の商業ディスプレイ向けに拡販に努めております。また、展示ケース内の設置に適した照明「LED薄型ライン照明」を発売いたしました。美術品等の展示には環境配慮の観点から、LED照明の導入が徐々に進みつつあります。新規分野では自然光LEDを搭載した照明を順次発売し、「自然光LEDのマーケットをつくる」ことを重点課題に掲げて取り組んでまいりました。

## ■野菜事業

株式会社フェアリーエンジェルが早期に事業を軌道に乗せるため、「てんしの光やさい」の積極的な営業活動を実施し、大手GMSにおける試験販売を実施、その後正式導入を果たす等、取引店舗数の増加に努めるとともに、生産の効率化や販売経費の削減に取り組みました。また、気候変動の影響による野菜の価格高騰に伴い、販売数量は向上いたしました。しかしながら、第3四半期連結会計期間末におきまして、早期の黒字化が困難と判断し、事業規模を順次縮小していくことといたしました。

## ■レストラン・カフェ事業

株式会社フェアリーエンジェルが安心安全な植物工場野菜の啓蒙、商品開発を目的として展開しておりますが、平成21年9月末をもってレストラン・カフェ店舗を5店舗から2店舗へ縮小しました。景気低迷による個人消費の落ち込みの影響を受け、厳しい状況の中、メニューやサービスの改善により、拡販に努めました。しかしながら、野菜事業同様、事業規模を順次縮小していくことといたしました。

## ■植物育成プラント事業

国内では、工場運営サービスを提供する企業と植物工場の操業に関わる人材育成に関して共同で事業化を進める事業提携に合意し、提携先企業の植物工場施工と栽培コンサルティングサービスを開始しました。海外では、平成22年1月に事業提携先と共同で進めておりました小規模植物工場「コンテナ野菜工場」の第1号機を中東カタール国の食品関連企業に納入することが決定し、11月から現地での栽培を開始予定です。植物育成プラント事業において、当社は開発した植物育成用LED照明を提供し、株式会社フェアリーエンジェルは植物工場設計技術と栽培ノウハウを提供しております。株式会社フェアリーエンジェルは植物育成プラント事業以外の事業を順次縮小し、経営資源を当事業に集中していくことといたしました。現在、海外を含め複数進んでいる商談の受注獲得に引き続き取り組むとともに、顧客ニーズに合った最適な植物工場用LED照明の開発を進めており、当社グループとして早期の事業化を推進してまいります。

連結財務諸表

# Consolidated Financial Statements

※ 百万円未満を切り捨てています。

## ■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2010年7月31日現在)	前期 (2009年7月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	3,301	3,141
固定資産	1,936	3,526
有形固定資産	1,764	3,101
無形固定資産	81	311
投資その他の資産	90	114
<b>① 資産合計</b>	<b>5,237</b>	<b>6,668</b>
(負債の部)		
流動負債	2,516	1,899
固定負債	1,755	2,226
<b>負債合計</b>	<b>4,271</b>	<b>4,126</b>
(純資産の部)		
株主資本	1,079	2,537
資本金	461	460
資本剰余金	576	575
利益剰余金	200	1,660
自己株式	△ 159	△ 159
評価・換算差額等	△ 112	△ 73
新株予約権	—	29
少数株主持分	—	49
<b>② 純資産合計</b>	<b>966</b>	<b>2,542</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,237</b>	<b>6,668</b>

### 1 POINT 資産合計

受注回復で受取手形及び売掛金が増加する一方、固定資産の減損損失及びのれん等の減損損失による固定資産の減少により総資産は前期末比1,430百万円減の5,237百万円となりました。

### 2 POINT 純資産合計

当期純損失の計上、配当金の支払による利益剰余金の減少、フェアリーエンジェル発行の新株予約権の一部について被付与者全員が権利放棄したことによる新株予約権の減少等により1,575百万円減の966百万円となりました。

## ■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2009年8月1日から 2010年7月31日まで)	前期 (2008年8月1日から 2009年7月31日まで)
売上高	4,775	3,608
売上原価	2,196	1,562
売上総利益	2,578	2,046
販売費及び一般管理費	2,818	2,961
<b>③ 営業損失(△)</b>	<b>△ 239</b>	<b>△ 915</b>
営業外収益	89	32
営業外費用	103	66
<b>経常損失(△)</b>	<b>△ 253</b>	<b>△ 950</b>
特別利益	38	—
<b>④ 特別損失</b>	<b>1,401</b>	<b>64</b>
税金等調整前当期純損失(△)	△ 1,615	△ 1,014
法人税、住民税及び事業税	14	6
法人税等調整額	△ 160	83
少数株主損失(△)	△ 49	△ 320
<b>当期純損失(△)</b>	<b>△ 1,419</b>	<b>△ 784</b>

### 3 POINT 営業損失

役員報酬の減額や管理職手当の減額等の人件費削減、事務効率化による経費の削減に努め、主力のLED照明事業は国内・海外ともに設備投資が活発化したことから想定を上回る営業利益を計上したものの、野菜事業及びレストラン・カフェ事業の損失をカバーするには至りませんでした。

### 4 POINT 特別損失

野菜事業及びレストラン・カフェ事業については、早期の黒字化が困難であると判断し、事業規模を順次縮小しながら撤退することといたしました。今後は成長が見込まれる植物育成プラント事業に経営資源を集中し事業基盤を確立してまいります。これにより、固定資産の減損損失など特別損失1,401百万円を計上しました。

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2009年8月1日から 2010年7月31日まで)	前期 (2008年8月1日から 2009年7月31日まで)
<b>⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 414</b>	<b>△ 125</b>
<b>⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 119</b>	<b>△ 501</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 70	1,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21	△ 51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 625	398
現金及び現金同等物の期首残高	1,339	940
現金及び現金同等物の期末残高	714	1,339

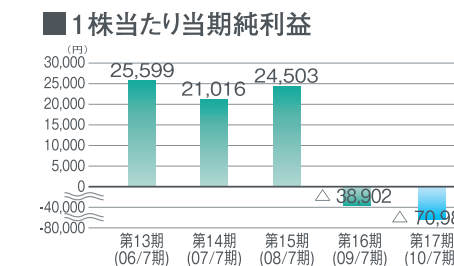
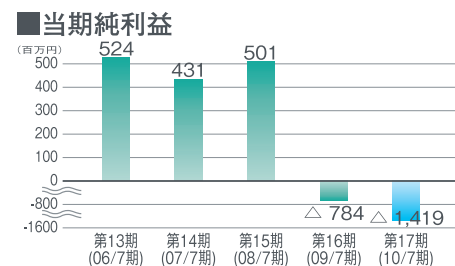
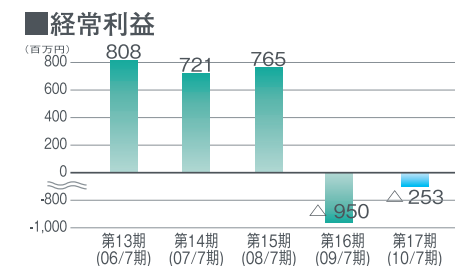
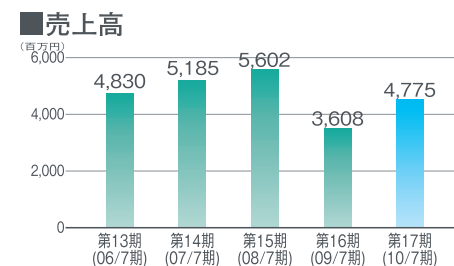
### 5 POINT 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上高の減少により税金等調整前当期純損失となったことに加えて、売上債権の増加、退職特別加算金の支払などから414百万円の支出超過となりました。

### 6 POINT 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出により、119百万円の支出超過となりました。

## 財務ハイライト





# トピックス Topics

## TOPIC 01 展示会出展情報

### 「Vision 2009」

会期：2009年11月3日～5日

会場：ドイツ・シュトゥットガルト

マシンビジョンや認識技術を中心としたドイツ最大級の見本市。

当社では自然光照明や新たに発売を開始した画像処理照明、ライン照明、LED照明コントローラーを中心に展示を行いました。



### 「'09 国際画像機器展」

会期：2009年12月2日～4日

会場：パシフィコ横浜

製造現場で利用される最新の画像処理技術を一堂に集めて開催される展示会。

当社では2009年度発売した画像処理を支える照明装置を中心に展示を行いました。

### 「シンガポールガーデンフェスティバル (SGF)」

会期：2010年7月15日～22日

会場：シンガポール Suntec Convention Hall

シンガポール政府機関であるNational Park Board (国立公園局) が主催する2年に一度の展示会。

AVA(農畜産物管理庁)ブースにてCCS Asia・フェアリーエンジェル社共同のFA社の簡易型野菜栽培設備ミニベジプラント(実システム)及び40フィートコンテナ型(パネル及びミニチュアもモデルのみ)を展示。ブースには政府の関係・高官も視察され、大きな注目を集めました。



## TOPIC 02 新製品情報

2009年12月発売

### コンパクトコントローラーCC-ST-1024

工場現場での画像処理検査用のLED照明は、光の明るさの調節(調光)やカメラのシャッタースピードに合わせてLEDをストロボ発光させるなどの制御が必要です。シーシーエスはLED照明の制御機器を従来から販売していますが、製造装置が小型化し工場の省スペース化が進んでいることに対応新たに当製品を開発しました。



コンパクトコントローラー CC-ST-1024



ライン下や空スペースのDINレールに設置できます。

2010年3月発売

### 自然光LEDランプ



2010年度グッドデザイン賞を受賞しました。

2010年4月発売

### 薄型ライン照明



太陽に近い光を再現する「自然光LED」は、あらゆる場所でメリットを發揮。絵画や写真などを照射するライトは、色彩の忠実な再現と色あせを防ぐことが必須条件です。超高演色の「自然光LED」なら、展示品の色を限りなく忠実に再現します。

2010年5月発売

### LTシリーズ

業界最高レベルの明るさと均一性を持つLEDライン照明の新シリーズ「LTシリーズ」を開発。ライン照明はシート状、平板状のものを検査する場合に用いられ、検査対象物の範囲が近年拡大しています。独自に開発した逆T字型の特殊光学構造により、業界最高レベルの高輝度を保ちながら、超高均一を実現可能にしたことで、検査の精度アップと検査スピードの向上を実現します。



LTシリーズ

## 会社概要

# Corporate Information

### ■ 会社概要 (2010.7.31 現在)

本社所在地 〒602-8011  
京都市上京区烏丸通下立売上ル  
桜鶴岡町374番地  
TEL. 075-415-8280 (代表)  
FAX. 075-415-8281 (代表)

設立 1993年10月6日  
資本金 461,250千円  
従業員数 201名(連結) 161名(単独)  
取引銀行 みずほ銀行・日本政策投資銀行・滋賀銀行・京都銀行

事業内容 ● 画像処理用LED照明装置  
および制御装置の開発、製造、販売  
● 顕微鏡光源用、  
植物育成用、医療用、  
民生・商業用、  
その他LED応用照明の開発、製造、販売  
● 植物プラント事業  
(野菜の販売、植物プラントの販売、  
レストラン・カフェの展開)

事業所 生産センター、光技術研究所、  
東京営業所、名古屋営業所、  
仙台テストングルーム、上海駐在員事務所、  
深圳駐在員事務所

関連会社 CCS America Inc.  
CCS Asia PTE LTD  
CCS Europe NV  
株式会社フェアリーエンジェル  
※ 株式会社フェアリーエンジェルは2010年9月29日で  
株式会社フェアリープラントテクノロジーに社名変更しています。

### ■ 役員および執行役 (2010.10.29 現在)

取締役代表執行役社長 米田 賢治 執行役 穂本 光  
取締役兼執行役 各務 嘉郎 執行役 宮裡 静雄  
取締役兼執行役 松室 伸二 執行役 石井 博規  
取締役(社外) 安居 幸一郎  
取締役(社外) 中河 光雄  
取締役(社外) 酒見 康史

## 株式の状況

# Stock Information

### ■ 株式の状況 (2010.7.31 現在)

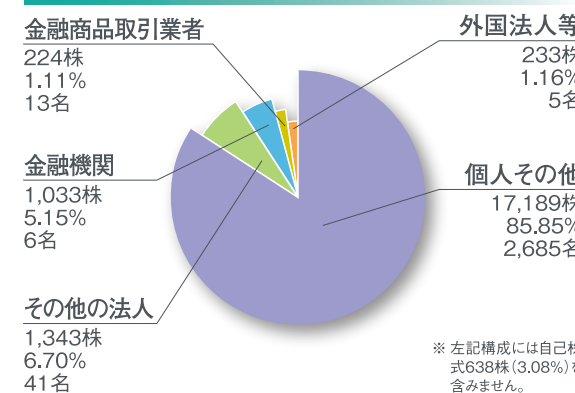
発行可能株式総数 60,000株  
発行済株式の総数 20,660株  
売買単位 1株  
株主数 2,751名

### ■ 大株主の状況 (2010.7.31 現在)

株主氏名	株式数	所有株式数の割合
1 米田賢治	7,818株	39.04%
2 株式会社サン・クロレラ	580株	2.89%
2 サン・クロレラ販売株式会社	580株	2.89%
4 野村信託銀行株式会社(投信口)	568株	2.83%
5 シーシーエス従業員持株会	318株	1.58%
6 米田美鈴	250株	1.24%
7 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	221株	1.10%
8 安井由美子	180株	0.89%
9 安封昂雄	165株	0.82%
10 大賀昭司	137株	0.68%

※ 所有株式数の割合は自己株式638株を控除して計算しております。

### ■ 株主構成 (2010.7.31 現在)



※ 左記構成には自己株式638株(3.08%)を含みません。

## 株主メモ

事業年度 毎年8月1日から翌年7月31日まで  
定時株主総会 毎年10月  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
TEL ☎0120-094-777 (通話料無料)  
公告方法 電子公告  
公告掲載 URL  
http://www.ccs-inc.co.jp/ir/koukoku.html  
(事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)  
基準日 期末配当金 毎年7月31日  
中間配当金の支払いを行うときは  
毎年1月31日  
上場証券取引所 大阪証券取引所 JASDAQ市場  
証券コード 6669

(ご注意)  
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。  
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## WEBサイトのご案内

「企業情報」では、動画とイラストでシーシーエスの事業内容や強みについて知っていただける「3分で分かるCCS」をご覧ください。 「IR情報」では、財務ハイライトやニュースリリース、説明会の動画などを随時更新しています。 ぜひご覧いただきまして、「お問い合わせ」のページからご意見・ご質問など、皆様のお声をお寄せいただければ幸いです。



<http://www.ccs-inc.co.jp/>

## 楽天ショップのご案内

民生・商業分野の照明は、楽天ショップにてご購入頂けます。店舗・美術館の展示等の用途に「LEDランプ」。独自のLED制御技術により、ろうそくの炎のようなゆらぎを実現した「ゆらぎ照明」。音楽による光のゆらぎで癒しを演出する「アテナ」等、多数の商品を取り揃えております。ぜひ一度ご覧ください。



## IR活動

### 個人投資家説明会を開催しました。

2010年4月3日(土)  
会場: KDDIホール(東京・千代田区)  
主催: 読売新聞東京本社広告局・株式会社インベストメントブリッジ

2009年12月12日(土)  
会場: 京都新聞文化ホール(京都・中京区)  
主催: 京都新聞社

個人投資家説明会では、代表執行役社長 米田賢治より当社の事業戦略やビジネスモデルについてご説明させていただきました。また、製品の展示も行い株主の皆様にご紹介させていただきました。たいへんご好評いただき、18期におきましても開催を予定しております。詳細は順次、ホームページで更新させていただきます。



**IRカレンダー**  
今後の予定はこちらです。



**IRイベント**  
過去に行われたイベントの動画・詳細はこちらです。



シーシーエス株式会社

〒602-8011  
京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374番地  
TEL. 075-415-8280(代表) FAX. 075-415-8281(代表)

未来が変わる。日本が変わる。 **チャレンジ 25**



環境に配慮し、大豆油インキとFSC認証紙を使用しております。

### ■ 免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。